

第6回名張市地域公共交通会議議事概要

日 時：平成21年12月24日（木） 午後1時30分～3時30分

場 所：名張市役所 301・302会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員（名張市）

笠原 正嗣（皇學館大学社会福祉学部准教授）
古谷 久人（地域づくり組織代表）
藤森 迪哉（名張市老人クラブ連合会会長）
田中 恒紀（名張市身体障害者互助会会長）
草部 豊美（名張市子育てサークル連絡協議会代表）
加藤 敏信（市民公募）
小松 信三（三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長）
深山 美芳（深山運送有限会社取締役）
福田 道雄（国土交通省中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官）
館 敏雄（三重県政策部交通政策室長）
鵜飼 伸彦（三重県伊賀建設事務所副所長兼保全室長）
山原 理克（名張警察署交通課長）
中村 俊行（三重交通株式会社伊賀営業所所長）
田中 真一（社団法人三重県バス協会代表）
森澤 淳（三重交通労働組合伊賀支部書記長）
杉永 光价（名張市都市整備部長）

（2）事務局（名張市）：都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：なし

内 容：・緑が丘コミュニティバス「みどり号」の本格運行の実施について
・国津コミュニティバス「あららぎ号」の本格運行の実施について
・薦原コミュニティバス「コモコモ号」の一部ルート変更について
・その他

第 6 回名張市地域公共交通会議議事録

事務局 それでは定刻となりましたので、ただ今から第 6 回名張市地域公共交通会議を始めさせていただきます。それでは開会にあたりまして、名張市都市整備部部長の杉永よりご挨拶を申し上げます。

都市整備部長 皆さんこんにちは。都市整備部長を拝任しております杉永と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。日頃は、名張市が取り組んでおりますコミュニティ交通の推進にご支援・ご協力をいただいておりますこと、改めて御礼申し上げたいと思います。おかげをもちまして、このコミュニティバスにつきましては、昨年度 1 年間で約 63,500 人の多くの方にご利用をいただいているところでございます。このことにつきましても、皆さん方のご支援と併せて地域の皆さん方の創意工夫によりまして、市民の日常生活の足として定着してきていると感じているところでございます。私どもといたしましても、交通不便地域の解消を図るとともに、安全で環境にやさしい交通体系の在り方、このことも目指して、地域の公共交通の推進に引き続いて努めてまいりたいと考えてございますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局 それではここで、地域公共交通会議の委員にご就任いただきました皆様をご紹介させていただきます。（事務局から紹介）

事務局 次に、会長及び副会長の選任についてでございますが、三重県下におきましては学識経験者の方に会長をしていただいているという状況でございますし、前回までにつきましてもお世話をおかけいたしておりますので、引き続き皇學館大学准教授の笠原委員をお願いをいたしたいと思います。それと副会長につきましては、この会議を市が主催するという事になっていることから、名張市都市整備部部長の杉永委員を選出させていただきたいと考えております。よろしいでしょうか。…（異議なし）…ありがとうございます。それでは、よろしくをお願いをいたしたいと思います。笠原会長よりご挨拶いただきたいと思いますので、笠原会長、よろしくお願いいいたします。

会長 改めましてご挨拶をさせていただきたいと思います。皇學館大学の笠原と申します。前回の地域公共交通会議の会長を務めまして、今期も会長でとご指名いただきましたので、精一杯させていただきますと思います。どうぞよろしくお願い致します。実は、今日は 24 日ですけれども、昨日まで本学では卒業論文提出の時期でございました。その卒論を見ていた中で、最近「買い物難民」という言葉がよく言われているようで、買い物に行きたくても行けない、なぜかという郊外型の店、そういった所で事業をされている方が多いのですけれども、やはりお年を召された場合は行きたくても車に乗れない、ではどうするか。あるいはまちづくりの中で商店街の活性化とか、そういった問題ですね。いろいろな問題というのが、おそらくこれから出てくると思います。その中で、やはり公共交通の果たす役割、比重というのは確実に高まってくると思いますので、ぜひこの会議の中で充実した議論というのを皆様をお願いしたいと思います。どうか、至らない点もあるかと思いますが何卒よろしくお願い致します。

事務局 どうもありがとうございました。それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、笠原会長をお願いをしたいと思います。笠原会長、よろしくお願いいいたします。

会長 はい、それでは皆様のお手元でございます事項書に沿いまして、議題を進めさせていただきます。本日、議題が 3 つございます。緑が丘のバス「みどり号」の本格運行、議題のが国津のコミュニティバス「あららぎ号」の本格運行、そして が薦原の「コモコモ号」のルート

変更と、案件が3つでございます。

では、議題番号に従いまして進めていきたいと思っております。それでは『緑が丘のコミュニティバス「みどり号」の本格運行の実施について』をお願いいたします。

事務局 それでは、緑が丘コミュニティバス「みどり号」の本格運行の実施について、説明をさせていただきます。資料の1ページをご覧ください。まず運行の目的でございますが、緑が丘は、蔵持地域に属する人口約2,200人の住宅地であり、近鉄桔梗が丘駅から国道368号をはさんだ西側に位置しています。緑が丘北端から桔梗が丘駅までは約1.5キロ、三重交通バス上野名張線のバス停までは約1キロあり、坂道を歩く必要もあることから、地域からはこれまでもナッキー号の乗り入れ要望をいただくなど、高齢化が進む中で将来の交通手段への不安が高まっている状況です。このような中、平成19年8月策定の「名張市地域コミュニティ交通推進方針」において、緑が丘を交通不便地と位置づけ、市として地域コミュニティ交通導入に向けた支援を行っていくこととなりました。これを受け、地域では、コミュニティバス運行協議会を立ち上げ、住民アンケートを行うなど検討を進め、平成21年4月1日より緑が丘地域と近鉄桔梗が丘駅を結ぶコミュニティバス「みどり号」の実証運行に取り組んできました。

次に実証運行期間の利用状況につきましては、実証運行は1日4便の運行であり、4月から11月までの1日平均利用者数は約25人という状況となっております。

運行協議会では10月17日に臨時総会を開き、利用促進や運行ダイヤについて協議し、その後10月19日～23日には乗り込み調査による利用者のニーズ調査を行いました。その臨時総会におきまして、来年度の本格運行への移行について、全会一致で決定したとの報告をいただいております。

本格運行の概要につきましてですが、開始日は平成22年4月1日、運行主体は緑が丘コミュニティバス運行協議会、運行委託先は三重交通株式会社、運行ルートは桔梗が丘駅から緑が丘内を循環いたしまして、桔梗が丘駅へ戻る一周5.5キロとなっております。また、桔梗が丘駅でナッキー号や路線バスに接続することを基本としております。

次に運行本数・時刻についてでございますが、本格運行の実施にあたり、より利用者の利便性を高め、利用促進を図るため午前2便・午後2便の計4便運行のうち4便目の運行時間を遅くするという事で、現在詳細な時刻等についてご検討いただいているとのことでございます。

また、土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は運休としております。

次2ページになりますが、運賃は1人1乗車100円、未就学児は無料となっております。バスの乗車定員は、運転手を含めて39人乗りでございます。

次に3ページの『緑が丘コミュニティバス「みどり号」の利用状況』でございますが、平成21年4月から11月までの利用の状況をこちらに載せておりますけれども、下の合計欄をご覧くださいますと、11月までで4,105名の方にご利用いただいて、1日平均25.1人の利用となっております。

4ページからは、先ほどもご紹介させていただきました乗り込み調査による利用者アンケートの集計結果でございます。こちらをご覧くださいますと、『(2)ダイヤについて』ということで、「3,4便目を遅く」「4便目を遅く」というようなご意見をいただいているようです。『(4)利用者の声など』ですけれども、「便利になって助かっている。これからも続けてほしい」というご意見もいただいておりますが、その下にあるようなご要望もいただいているとのことです。その他、5ページ・6ページにも参考に内訳などをご紹介させていただいております。

それでは、以上で説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いいたします。

会長 ありがとうございます。皆様のお手元に資料がありますけれども、特にアンケート結果なども書いておられるようで、その中で本格運行に対する評価、プラス利用時間ですね。特に 4 便目を遅くしていただきたいという意見が多くございました。4 便目を遅くする形で本格運行のほうをお願いしたいと、このように上がってきております。これについて、まずは何か確認しておきたいこと、ご意見等ございますでしょうか。

委員 具体的な、この 1 便から 4 便の時間は分かりますでしょうか。

事務局 今、先ほど申し上げたように桔梗が丘駅から緑が丘を循環してきて桔梗が丘駅へ戻るというルートなのですが、桔梗が丘駅を発車するのが第 1 便が 9:45、第 2 便が 11:15、第 3 便が 12:45、第 4 便が 14:15 というようになっております。所要時間は約 20 分となっておりますので、たとえば最終便の 14:15 のバスは、最終桔梗が丘駅には 14:35 に到着という形になります。

会長 それでこの 4 便の 14:15 を遅く設定したいという形で出てきておられるのですね。...分かりました。よろしいでしょうか。

委員 桔梗が丘駅でナッキー号に接続...とのことで、9:45、11:15、12:45、14:15 とありますが、ナッキー号に乗り継ぐ場合の待ち時間は大体どれくらいになりますか。

事務局 今の状態ですけれども、ナッキー号への接続を考えるとということで、第 1 便目は 10:05 に桔梗が丘駅に到着するのですが、ナッキー号は 10:21 に桔梗が丘駅を発車します。2 便目については 11:35 にみどり号が到着をして、ナッキー号は 11:51、3 便目は 13:05 に到着して、ナッキー号は 13:21、4 便目は 14:35 の到着で、14:51 のナッキー号の発車となっております。

会長 ということは、16 分の待ち時間ですね。...ほか、いかがでしょうか。

たとえば“遅くする”ということが出ていますけれども、それは具体的には決まっていないということですかね。いつに設定するか。

事務局 はい、まだ詳細なことまでは決まっていません。

会長 よろしいでしょうか。...先ほどの第 4 便の時間については、繰り返しますけれどもこれから協議をするという形になるわけですね。今日は本格運行の実施について、これは時間についても、時間設定込みでここで承認しなくていいのですか。事後承認のような形でもいいのでしょうか。

委員 手続き上の問題だけお話しさせていただければ、利用者利便を図るためにダイヤを変更することを今後確認するということを含めて、この公共交通会議として合意をしたということで委員の方のご了解をいただければ、合意というふうに言っていただいても構わないと思います。

事務局 決定はしていないのですけれども案として、16:25 に桔梗が丘駅を発車する便を検討しているところです。

会長 4 便目の時間をずらすということですね。増便ではなくて時間変更ですね。

事務局 今の 4 便目を取りやめて 今 14:15 の桔梗が丘駅発なのですが、それをやめて 16:25 の遅い便にするというような案で、それを検討していただいています。

会長 それでしたら今ご説明ありましたように、4 便目の 14:15 発というのが現在の最終なのですが、アンケートで利用者の皆様が遅い時間を希望しているということで、運行協議会のほうで 16:25 というものを軸に検討されていて、それを基本として 4 便目の時間変更を実行すると。そのような形で 4 月から運行したいと。このような案が出ております。それを含めて、本格運行についてのご承認をいただきたいと思うのですけれども、委員の皆様、よろしいでしょうか。ご異議ございませんでしょうか。...それでは、みどり号の本格運行についてお認めいただけたと、確認したいと思い

ます。ありがとうございました。それでは、 の「みどり号」の本格運行について、22年4月1日から本格運行を行うという形でご承認いただきましたので、ありがとうございました。

それでは、続きまして議題番号の 、『国津コミュニティバス「あららぎ号」の本格運行の実施について』のところに入っていきたいと思います。よろしくお願いたします。

事務局 それでは、国津コミュニティバス「あららぎ号」の本格運行の実施について、ご説明をさせていただきます。資料の7ページをご覧ください。まず運行の目的でございますが、国津コミュニティバス「あららぎ号」は平成16年9月の運行開始以来、廃止代替バス「布生線」の運行と並行しながら、主として高齢者の地域内での買い物や児童の通学のための交通手段として、地域の運行協議会により運行が行われてきました。平成20年3月に「布生線」が廃止となった後は、「あららぎ号」がつつじが丘のバス回転場に接続する形で対応を行っていましたが、通学児童を除く利用者の大部分は高齢者であり、バスの乗り換えに身体的負担も大きいことから、運行協議会に対して名張駅までの運行についての強い要望が寄せられていたことなどにより、平成21年4月1日から名張駅までの路線延長および運賃の改定を行い、実証運行に取り組んできました。

次に実証運行期間の利用状況でございますが、実証運行による4月から11月までの1日平均利用者数は約29人という状況となっており、そのうち名張駅を利用する人数は6名~7名となっております。ただし、地域内の百々橋から名張駅までの間はバス停を設けず、ノンストップ運行としているため、路線バスと競合することはありません。また、運行協議会では11月20日~12月5日にかけて国津地区全住民を対象に「あららぎ号」の利用についてのアンケート調査を実施し、住民の意向確認を行いました。

次に本格運行の概要でございますが、開始日は平成22年4月1日、運行主体は国津コミュニティバス運行協議会。運行ルートは、国津地域からつつじが丘を經由して国津地域、また国津地域から名張駅を經由して国津地域となっております。なお、つつじが丘での路線バスへの接続及び名張駅でのナッキー号等への接続を基本としております。

次に運行本数・時刻についてでございますが、午前4便・午後5便の合計9便を基本（内名張駅2便）とし、冬季は利用者の利用時間に合わせ8便運行（内名張駅1便）としております。

また、土・日・祝日・年末年始（12月29日~1月3日）は運休とします。

8ページになりますが、運賃につきましては1人1乗車200円~450円、未就学児は無料となっております。

次にバスの乗車定員は10人乗りとなっております。

4. の『アンケート調査の結果と今後の取組みについて』でございますが、アンケート調査結果によると、コミュニティバス利用の満足度は「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて約95%の人が満足していると回答しております。また、利用していない人も含めたコミュニティバス運行の可否についても約80%の人が“運行は良かった”との結果でした。

その他の意見といたしましては、「名張駅まで延長が良かった」「便利になった」「一人で行動できるようになった」という意見がある一方、「工夫を求める」などの意見もいただいております。

このようなことを踏まえまして、平成22年度につきましては実証運行と同じ形態で運行することといたしまして、今後引き続きアンケート調査などにより利用者のニーズの把握などに努め、利便性の向上等の改善を図りながら取り組んでいきたいと考えております。

次に、9ページの『あららぎ号 月別乗車人員表』ですが、こちらのほうは今年の4月以降の利用状

況の表でございます。中央のほうをご覧くださいますと、地域内をご利用の方が 884 人で 76.3%、駅までのご利用の方が 274 人で 23.7%となっております。下段の参考のほうですが、19 年度の利用が 7,148 人で、1 日平均を見ていきますと 29 人、20 年度は 32 人、21 年度につきましては 29 人となっております。現在のところ大きな変動はないかと考えております。

10 ページからは、コミュニティバスあらかぎ号の運行アンケートの集約結果を抜粋して載せております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

会長 ありがとうございます。これは実は昨年、あらかぎ号が国津とつつじが丘間ですけれども、2 本は名張駅まで直通運転をするという形でいろいろご議論いただきました。その際さまざまな問題点、課題というのが出てきておりまして、ひとつは三重交通さんとの競合というか重複が一部あるという点をどうとられるかということでご議論いただきました。その中で、1 年間は一応これでという形であったのですが、その結果が表れてきていると思います。人員としては 23.7%、運賃が違うのはおそらく乗る所が違うからだと思うのですが、こういった結果が出ています。今回は実証運行から路線延長した形での本格運行のご要望が出てきておりますので、皆様にご協議をお願いしたいと思います。

まずこれについて、最初に確認しておきたいこと等ございますでしょうか。

委員 乗車の料金の件ですけれども、先ほどのみどり号の場合は一律 100 円と。ここは距離によって 200 円～450 円とのことで、この料金体系というのは公共交通さん、三重交通さんのバス料金とほぼ一致している額なのでしょうか。

事務局 こちらのほうは、当初と言いますか廃止代替バスというのが国津地域を走っておりまして、そのときの料金を参考にいたしまして料金の設定をさせていただきました。

委員 こちらのほう、1 日の乗車の人数が 30 人と、バスが 10 人乗りということで効率もいいような気がするのですけれど。

委員 私も乗合、錦生のバスをやらせてもらっていますけれども、先ほどの疑問に対して私も賛同ですね。要はコミュニティは小さい車のほうがいいのです。地域、団地内を走るのに大きい車は要らないと。コミュニティとしてはやはり 10 人くらいが本当は良いと思います。このあらかぎ号さんに対して 2 点疑問があります。まず 1 点目、運営主体となっているのはボランティア的な人達ですね。何かあった場合、素人の方が、駅まで来るリスクを負うわけですね。疑問がありますね。それともう 1 点...競合しますよね、基本的に。つつじが丘までの分が三重交通さんと。本来でしたらつつじが丘の回転場で乗り換えるのですけれども、そうではなく直通で行くということは三重交通のお客さんを減らしているわけですね。要は競合です。それが良くて、他は良くないという話は疑問なのです。私から言わせてもらおうと、老人の方は殆ど買い物に行きたい、病院に行きたい、ですよね。だったら病院まで直接走らせてもらえるようなバスをつくりたいのですよ。

事務局 1 つ目の、そういった国津「あらかぎ号」の運行につきまして、名張駅まで路線延長することによって運転手の運行的なリスクはどうなのかということですが、あくまで運行につきましては地域公共交通会議の中でいろいろ話をさせていただいたうえで、こういった運行をしようとする。ですからそのリスク的な部分につきましても、やはり地域の中で取り組むということになりますと、運転手も含めてそういったことを踏まえて自覚を持って運行していると。それと実質的な部分で言えば市のほう、何かあったときにはどうするのかということですが、この地域につきましてはご存じの

ように、国津地域という地域的に不便という状況も踏まえた中で、何かあったときには支援をしていくということになっております。

2つ目の部分で、あららぎ号が路線延長することによって他のバスの運行も認められるのかということですが、先ほどからお話をさせていただいていますように、こういった公共交通の考え方としましてはやはりその公共道路バスを基本、ベースに運行するということに変わりはございません。ただ「あららぎ号」につきましては、先ほどからもご説明させていただいているように、もともと廃止代替バス路線といたしまして名張駅までのルートがあったわけです。そのルートを「あららぎ号」が現在運行しているということでありまして、ルートを新設したわけではないのです。ですから、既存の路線バスとの競合を避けるために、国津地域内の百々橋という所から名張駅までにつきましてはバス停を設けずにノンストップで運行をしているというところでございます。

委員 一番問題になるのは三重交通さんを中心にした4条のバス路線...コミュニティバスも必要ですけれども、地域に全く路線バスがない場合と、地域の根幹を路線バスとしている場合があって、幹線のバスは路線バスとなっています。その支線としてコミュニティバスがそれぞれの地域で運行されているという形にしないと、すべての車 コミュニティバスが中心駅等に入ってくるとなると、その4条の路線自体が維持できなくなって撤退をしていく可能性があるわけです。もし4条路線との競合を無視して協議されるのであれば、この協議会の中で名張市としてもすべての公共交通を最後まで面倒見るのだというつもりでしっかり議論していただかないと。やはり競合は非常にシビアな問題だと思っていますので、その辺のことを含めてご協議いただければと思います。

会長 今回、地域の方が駅まで行く必要はこれだけです、ぜひお願いしたいと出てきたわけですから、この基本線というのはしっかりと運行していただくと。これに関しては1日2本、冬季は1本ですが、地域の中で絶対必要であると、名張駅まで行ってほしいということですので、この部分についてはお認めいただきたいと思うのですけれども。ほか...三重交通さん、いかがでしょうか。

委員 いつもお世話になっております。この件につきましては昨年いろいろ議論させていただいて、当社も - 胸を張っては言えませんが - 厳しい状況でございますが、このまま続けたいという方がいらっしゃるならば、やってもいいのかなと...そう言わざるを得ないです。

会長 立場はよく理解しております。個人的な認識ですけれども、バス・タクシー含めての事業主さんあつての公共交通ですから、それプラス地域の方々とのいろんなアイデアというのがうまくミックスされればよいと。潰し合っては何もならないと思いますので、そのバランス いかに住民の皆さんたちが長期に亘って生活の利便性を高めるかということですね。安かったらいいということではないので、長く続く形で地域の方が豊かな暮らしをできるかということをお考えの基本としていただければと...なかなか難しいことです。

事務局 委員の方の各視点からご意見をいただいております。これから地域コミュニティもいろんな課題を抱えながら、やはり持続可能な地域の公共交通という形で進めていかなければなりませんので、聴かせていただきましたことにつきましても、よりよい公共交通のために参考にさせていただきながら、また進めていきたいと思っております。

会長 よろしいでしょうか。いろいろご協議いただきましてありがとうございました。それでは「あららぎ号」の件なのですけれども、実証運行が3月末までですので4月1日から、地域から申請がございましたように「あららぎ号」の本格運行のほうをお認めいただきたいと思っております。ただ先ほども出ました通り、これは今まで路線バスが走っていたという前提がありますので、名張駅までの運

行のほうは - 並行する部分がありますけれども - 今の形で 1 日 2 便、冬季は 1 便の直通路線と、地域の要望を認めるということをお願いしたいと思います。それ以上の部分においてはいろいろ影響がございますから、これを基本線として守っていただくと。あとは安全確認の徹底、当然本格になると長距離になりますから、市のほうからの働きかけをぜひお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは続きまして議題の 3 番目、薦原コミュニティバス「コモコモ号」についてお願いいたします。

事務局 それでは、薦原コミュニティバス「コモコモ号」の運行についてご説明をさせていただきます。資料の 13 ページをご覧ください。まず運行の目的でございますが、薦原地域では名張市が廃止代替バス「名張山添線」を運行していましたが、利用者数が少ないことなどから、平成 19 年度末をもって廃止しました。また「名張山添線」の運行区域は地域西側の葛尾、家野、薦生地区のみであり、さつき台をはじめこれまでバスが運行していなかった地区においても、高齢化の進行に伴い、移動手段確保への要望が高まっていました。

このため地域では、沿線地区のみならず地域全体をカバーするコミュニティバスを運行するべく、住民アンケート調査を実施するなど検討を行い、平成 20 年 7 月 1 日より、薦原地域の全地区と近鉄桔梗が丘駅を結ぶコミュニティバス「コモコモ号」の実証運行を行い、平成 21 年 4 月 1 日から本格運行を行っています。

次に「コモコモ号」の利用状況でございますが、実証運行期間中は 1 日 2 便（1 往復）の運行であり、7 月から 2 月までの 1 日平均利用者数は約 8 人という状況ですが、1 便平均としては、廃止代替バス運行当時の約 2 倍となっています。また、運行開始当初は、全地区を片道 50 分かけて循環していましたが、乗車時間の短縮と利用促進を図るため、平成 20 年 11 月からは曜日ごとに葛尾コースと鶴山コースに分けて運行しています。

平成 21 年度の利用状況は、11 月までで 1 日平均 9 名の利用となっています。

運行の概要ですが、運行主体は薦原コミュニティバス運営委員会、運行委託先は三重交通株式会社です。

運行本数・時刻は、まず葛尾コースは月・水・木曜日に運行、月・木曜日は 1 日 2 便（1 往復）とし、水曜日のみ 1 日 4 便（2 往復）の運行を行っております。鶴山コースは火・金曜日の運行で、火曜日は 1 日 2 便（1 往復）とし、金曜日のみ 1 日 4 便（2 往復）の運行を行っております。どちらも土・日・祝日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）は運休としています。

運賃は 1 人 1 乗車 100 円、未就学児童は無料。

バスの乗車定員は 39 人乗りとなっています。

15 ページが利用の状況ですが、下段のほうの 21 年度をご覧くださいと、小計の所 11 月までに 1,474 名の方にご利用いただき、1 日平均としては 9 名という状況でございます。

ページをめくっていただきまして路線図をご覧ください。今回お願いいたしますルートの変更についてですが、中央部の“新ルート”と表示をさせていただいた部分でございます。但しこの区間につきましては、本来の「コモコモ号」のルートでありまして、この区間の県道が工事により通行止めになっていたために、現在まで迂回ルートで運行しておりました。それを元に戻すということをお本日お願いするものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

会長 ありがとうございます。 の「コモコモ号」の運行について、これは以前走っていたルートなのですけれども、通行止めにより迂回をしていました。それを本来のルートに戻す、という形の申請でございます。今回議論していただくのは、当初のルートが通行止めという事情により迂回しておりましたが、その通行止めが解除されましたので、また本来のルート - 新ルートとなっていますけれども元に戻すということでございます。それを認めまして、その他何か確認しておく事項というの
はございますでしょうか。

会長 よろしいでしょうか。それでは「コモコモ号」について、ルート変更というか本来のルートに戻すということですが、お認めいただきたいと思います。ご承認ありがとうございました。
以上で、本日お願いしておりました議題 から までについてはご承認いただきました。その他についてですけれども、何か事務局のほうでございますでしょうか。

事務局 委員の皆様には、報酬等の振込の口座を昨年からご登録いただいているわけなのですが、委員の皆様の中にもし変更がありましたら、また事務局のほうまでお知らせいただきたいと思
いますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

会長 それではこれもちまして、第 6 回名張市地域公共交通会議を終了させていただきたいと思
います。皆様方どうもありがとうございました。